

2026 年 2 月 4 日

消化器外科・小児外科の外来診療あるいは入院診療を受けられた患者さんへ

「ロボット支援下食道切除術における融合型手術（Fusion Surgery）コンセプトの有用性と学習曲線の検討」への協力のお願い

消化器外科・小児外科では、下記のような診療を受けた患者さんの試料・情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2024 年 6 月 1 日～2025 年 10 月 27 日の間に、当科において、食道癌に対してロボット支援下食道切除術を受けられた方

研究期間：研究機関の長の研究実施許可日～2026 年 12 月 31 日

研究目的・利用方法：

食道癌手術は狭小縦隔での精密操作を要し、ロボット支援下手術（RAMIE）は安全性と郭清精度の向上が報告されています。しかし、異なるロボット機種間の学習曲線や縦隔部位別習熟過程の解析は不十分です。本研究は、Fusion Surgery コンセプトに基づき、各縦隔部位の手術時間を CUSUM 解析で評価し、機種切替後も習熟度が維持されるかを検証することで、安全かつ普遍的な手技獲得の実証を目的とするものです。

研究に用いる試料・情報の項目：

以下の項目につき、診療録から取得します。これらはいずれも日常診療によって得られた項目です。

患者背景（年齢、性別、BMI、腫瘍部位、臨床病期）

手術時間（上・中・下縦隔別）

出血量、在院日数、合併症（Clavien-Dindo 分類）

研究に用いる試料・情報の利用を開始する予定日：

2026 年 2 月 6 日

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究の内容や研究結果等について質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会において審査、承認され、研究科長・病

院長の許可を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

研究責任者

岐阜大学大学院医学系研究科 消化器外科・小児外科学

氏名：松橋延壽

連絡先

岐阜大学医学部附属病院 消化器外科

電話番号：058-230-6235

氏名：佐藤悠太

【苦情窓口】

岐阜大学医学系研究科・医学部 研究支援係

〒501-1194

岐阜県岐阜市柳戸 1 番 1

Tel：058-230-6059

E-mail：rinri@t.gifu-u.ac.jp